

◆医療・福祉マネジメント専攻 修士課程

□演習科目(専門科目)

科目名	ケースメソッド演習	2単位
担当者	篠田道子、中島民恵子、宇佐美千鶴（非常勤教員）	
テーマ	ケースメソッド授業を運営し、討論から学ぶ価値を理解する。	
科目のねらい	<p>&lt;キーワード&gt;  ケースメソッド、ファシリテーションスキル、マネジメント、ディスカッションリード計画、ケース教材、学びの共同体</p> <p>&lt;内容の要約&gt;  多様な立場、異なる背景を持つ院生が、ケース教材等を使った討論を通じ、実践力（理論的知識と実践的な知見）の向上を目指す。医療福祉現場における集団運営に必要なコミュニケーション能力、多面的な問題分析力や解決策の提案、マネジメントやファシリテーション能力を開発することを目的とする。また、ケースメソッド演習の特徴である双方向性、創発性、協働性を十分に引き出し、学習者の実践力を育むために、クラス内で「学びの共同体」が作れるよう、参加者と教員は努力することが求められる。</p> <p>&lt;学習目標&gt;  ・ディスカッションリード計画を作成し、ファシリテーションスキルを活用することで、ケースメソッド授業を運営できる。  ・多面的な問題分析力や解決策の提案、批判的考察力などを身につける。  ・討論から学ぶ価値が理解できる。</p>	
内容	<p>【社会福祉領域】  医療保健福祉サービスの供給主体としての地方自治体、非営利組織のマネジメントについて、ケース教材を用いて検討する。具体的には、地域で発生している社会的排除等の福祉問題の解決方法、地域福祉計画や地域住民参加など、地域福祉システムの経営、運営、開発の視点から検討する。</p> <p>【医療福祉サービス領域】  医療福祉サービスにおける支援の過程、チームやネットワーク、組織運営などについてケース教材を用いて検討する。医療機関・福祉施設・在宅サービス・民間組織でのミドルマネジャーの役割やファシリテーションのあり方を考える。</p> <p>【医療福祉経営領域】  社会福祉施設や医療機関、小規模事業所のマネジメント（管理・運営・経営）を取り扱ったケース教材を用いて、組織における意思決定やリスクマネジメント、人材育成など幅広い視点からマネジメントを考える。</p>	
	<p>授業日：4月16日（オリエンテーション・ケース1）、5月7日（ケース2）、5月21日（ケース3）、6月11日（ケース4）、6月25日（ケース5）、9月17日（ケース6）、10月8日（ケース7）、10月29日（6限のみ・まとめ）</p> <p>授業の運営方法：①個人学習、②グループディスカッション、③クラスディスカッション、④振り返りの4段階とする。</p> <p>大学院委員会の方針に従い、対面での授業を基本とするが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、オンラインと対面を組み合わせるなど柔軟に運営する。具体的な進め方は授業開始前に説明する。</p>	
事前学習の内容 学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に配布したケース教材を読み、課題シートに自分の考えをまとめ、グループ討議で発言できるように準備しておくこと</li> <li>・ディスカッションリードを担当する院生は、「ディスカッションリード計画」を作成するので、担当教員と事前に相談すること。</li> </ul>	
本科目の 関連科目	基礎演習（ケースメソッド演習）	
成績評価方法 と基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平常点（70点）：出席回数、討論への参加状況（場作りの貢献度や積極的な発言など）、課題シートの提出状況を勘案して総合的に評価する。</li> <li>2. その他（30点）：2つの方法から選択する。①ケース教材の執筆。ケースとして提出されたものは「ケース教材の試運転」を経て、次年度以降の授業で活用することも想定している。②ディスカッションリードやライティングのいずれかを体験する。詳細は授業初日に説明する。</li> </ol>	